

**平成 26 年度
仙台市食育推進会議関係団体等
食育推進取り組み事例集**

**平成 27 年 3 月
仙台市食育推進会議**

★★★ 目 次 ★★★

主体・部署名	ページ	推進の柱※			
仙台市小学校教育研究会学校給食部会 1 地区	1	①			
仙台市向山小学校	3	①	②	③	④
学校法人菅原学園 鶴が丘幼稚園	5	①			
学校法人南光学園 南光幼稚園	6	①			
学校法人双葉学園 ふたばエンゼル幼稚園	7	①			
仙台市保育所連合会給食会委員会	8			③	
特定非営利活動法人 仙台・みやぎ消費者支援ネット	9				④
宮城県生活協同組合連合会					
みやぎ生活協同組合	11			③	
生活協同組合 あいコープみやぎ	12			③	④
仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城食生活改善推進員会）	16	①			
仙台市食生活改善推進員連絡協議会（秋保食生活改善推進員会）	17	①			
公益社団法人 宮城県栄養士会①	18	①			
公益社団法人 宮城県栄養士会②	19	①			
公益社団法人 宮城県栄養士会③	21	①			
仙台白百合女子大学①	23			③	④
仙台白百合女子大学②	24	①			
仙台市					
市民局市民協働推進部消費生活センター	26	①			④
健康福祉局保健衛生部健康増進課	27	①			
健康福祉局保健衛生部生活衛生課	28				④
子供未来局保育部保育課飯田保育所	29	①			
子供未来局保育部保育課七北田保育所	30		②		
経済局農林部農政企画課・農業振興課	31			③	
経済局農林部農業振興課	32			③	
経済局中央卸売市場業務課①	33			③	
経済局中央卸売市場業務課②	34			③	
経済局中央卸売市場業務課③	35			③	
青葉区宮城総合支所保健福祉課	36		②		

宮城野区保健福祉センター家庭健康課	37	①	②		
若林区保健福祉センター家庭健康課	39	①			
太白区保健福祉センター家庭健康課	41	①			
泉区保健福祉センター家庭健康課	44	①	②		
教育局総務企画部健康教育課	46	①			
教育局生涯学習部生涯学習課	48	①			

※仙台市食育推進計画(第2期)における推進の柱

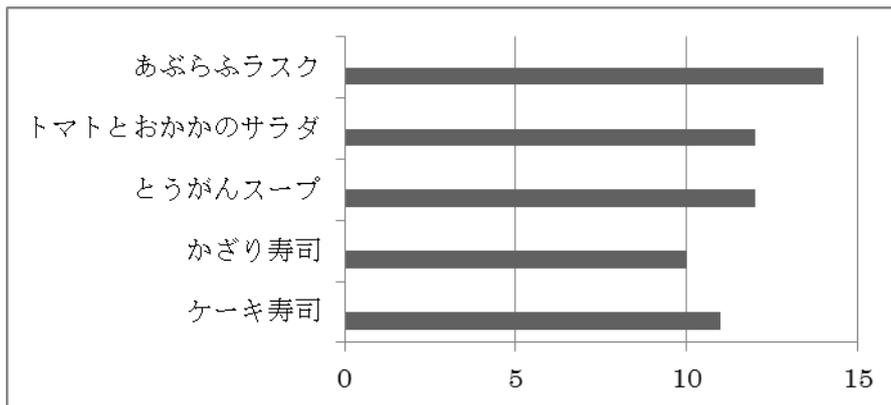
- ①食を通じた健康づくりを実践しよう
- ②地域の食文化を伝えあおう
- ③地産地消をすすめよう
- ④食品を選ぶ確かな目を持とう

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	仙台市小学校教育研究会学校給食部会1地区		
連携機関・団体	(財)学校給食研究改善協会		
取り組みの名称	親子料理教室	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>1 日時 平成26年7月30日(水) 9:00~13:30</p> <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の栄養教諭・栄養職員が講師となって、親子料理教室を開き、旬の食材を使った昼食を親子一緒に作ることを通して、食の楽しさを学び、家庭での食事作りの意欲を高める。 ○ 栄養指導や調理技術の向上を図る。 <p>3 会場 仙台市富沢市民センター 調理実習室</p> <p>4 対象 太白区内の小学校児童(15名)保護者(13名)</p> <p>5 主な内容</p> <p>「夏野菜を使ったおいしい昼食を作しましょう」</p> <p>(1) 食事づくりの身じたく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレに行くとき ・エプロンと三角巾 ・石けんでの手洗い <p>(2) 献立紹介(食材の紹介)と作り方の説明</p> <p>『花の飾り寿司』 『ケーキ寿司』</p> <p>『トマトとおかかのサラダ』</p> <p>『とうがんスープ』</p> <p>『あぶらふラスク』</p> <p>(3) 親子で料理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の切り方 ・夏野菜の紹介 <p>(4) 会食</p> <p>(5) 食べ物の働き(栄養指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤・緑・黄色の基礎食品群とその働き <p>6 アンケート調査から</p> <p>(1) 保護者アンケート</p> <p>Q1 きょうの料理の中で、家庭でも作ってみたいと思う料理は?</p>		





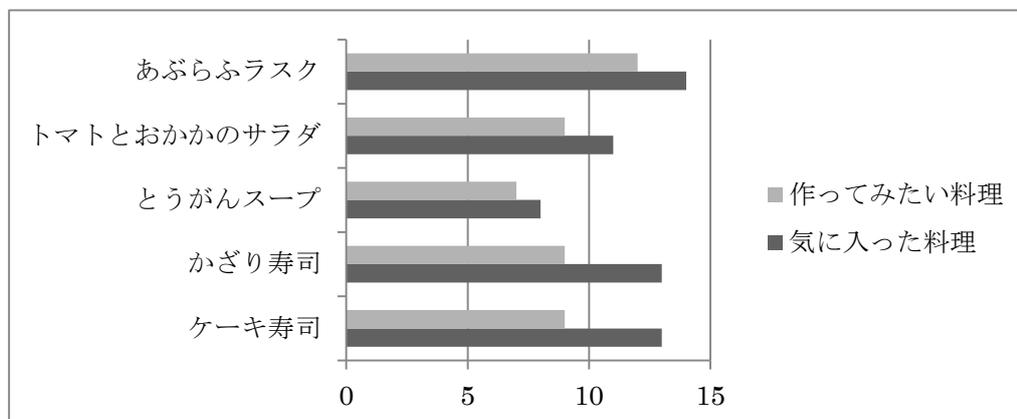
Q2 今日のお子さんの様子はいかがでしたか？

- ・ 自分のできる事を積極的に行っていて普段見ることのできない姿を見ることができました。
- ・ 初めてやる作業がたくさんあり、ドキドキしながらも楽しそうに作っていました。
- ・ 冬瓜や油麩など、どのように調理したらよいのかわからないものを使った料理を教えてもらえてよかった。

(2) 児童アンケート

Q3 きょうの料理の中で、気に入った料理は何ですか？

家庭でも作ってみたいと思う料理は何ですか？



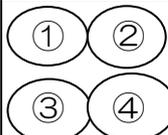
Q4 気づいたことやわかったこと、親子料理教室に参加しての感想は？

- ・ いろいろな料理が作れて楽しかった。見たことのない料理や、難しそうな料理が作れて楽しかった。また作りたい。
- ・ かざり寿司がきれいにできたのでよかった。
- ・ おいしく作れてよかったし、苦手なトマトも食べられてよかった。
- ・ 夏野菜はおいしいだけではなく、おなかの調子を整える働きをすることがわかった。



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	仙台市立向山小学校		
連携機関・団体			
取り組みの名称	ランチルームでの給食指導について	仙台市食育推進計画 推進の柱	
日時・内容	<p>本校には、教職員や保護者、ボランティアの協力により整備した手作りのランチルームがある。使用については、行事等を配慮し、栄養教諭が各学級月1回程度の割り当てになるよう決めている。使用の際には、栄養教諭と一緒に会食し、月の目標や季節の行事に沿った話をするようにしている。11月から2月は、調理員との会食もある。</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく楽しい雰囲気の中で食事をするにより、食事の喜びと大切さを理解させる。 ・食事のマナーや給食のきまりを身につけ、明るい社交性を養うことにより、より好ましい人間関係を育成する。 ・みんなで協力し進んで給食活動をするにより、責任感と自主的生活態度を身につけさせる。 <p>【指導内容】</p> <p>例 5月 マナーについて 6月 朝食について（breakfast を引用して） 「ひみこのはがーぜ」を引用して「かむこと」の良さについて 7月 夏野菜について 9月 スポーツと栄養について（陸上記録会に向けて） 10月 食物繊維について 11月 旬について 12月 冬至の野菜について 1月 学校給食週間クイズ 2月 「食べること」について</p> 		

2月16日(月)

こんだて

きょうの献立

きょうの注目献立は

わかめごはん
ぎゅうにゆう
ちくぜんに
なめこじる



豊臣 秀吉

ちくぜんに 筑前煮

です。

「筑前煮(ちくぜんに)」は、またの名を「がめ煮」といいます。豊臣秀吉が朝鮮に出兵する際、その大軍が博多に泊まりました。その当時、博多の入り江や沢にスッポンが多くいたので、これをつかまえて野菜としゃぶしゃぶに煮て食べました。その後、スッポンの代わりに、鶏肉を使うようになりました。冷めてもおいしく、栄養的にもバランスのとれた煮物です。

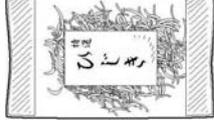
2月24日(火)

こんだて

きょうの献立

きょうの注目食材は

しょくパン スライスチーズ
ぎゅうにゆう
うずらたまごのクリームに
ひじきのサラダ
きよみオレンジ



ひじき

です。

煮物で食べることが多いひじきですが、きょうはサラダにして食べましょう。ひじきは「鉄分」と「カルシウム」が多くふくまれているのが特長です。みなさんの成長に必要なカルシウムです。牛乳にも、カルシウムは入っています。また、「鉄分」を吸収するためには、たんぱく質やビタミンCをふくむ食べものとしゃぶしゃぶに食べるとよいですよ。ビタミンCが多い「きよみオレンジ」も、残さず食べましょう。

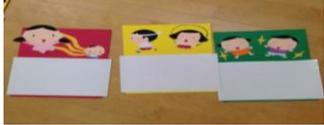
食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	学校法人菅原学園 鶴が丘幼稚園		
連携機関・団体	仙台市私立幼稚園連合会		
取り組みの名称	カレーパーティー (栽培・収穫・調理を通して)	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>11月～7月 全園児 105名対象</p> <p>自分たちで苗から植え、生長の様子を見ていき、収穫を行ない、その野菜を自分たちで調理して食べることで、食物のおいしさや収穫、調理の喜びを感じられるよう、毎年行っている。</p> <p>○11月 玉ねぎの苗植え</p> <p>○4月 ジャガイモの種いも植え・にんじん、ダイコン、いんげん種まき ・年長組の幼児を中心に土づくりから始め、全園児で苗植え、種まきをしていきます。</p> <p>○7月 収穫</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>夢中になって引き抜いたり、掘り起こしたりしています。</p> <p>その年によって育ち方、収穫量もまばらですが、収穫した時の子どもたちの笑顔はうれしそうです。</p> <p>○7月 カレーパーティー（調理）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>年少、中組はじゃがいもを、年長組はにんじんと玉ねぎを一人ひとり包丁を使って切る経験をします。切った野菜を大鍋で調理し、みんなでいただきます。自分たちで作ったカレーの味は格別です。</p>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	学校法人南光学園 南光幼稚園		
連携機関・団体	仙台市私立幼稚園連合会		
取り組みの名称	偏食を減らす為の取り組み	仙台市食育推進計画 推進の柱	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">②</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">③</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">④</div> </div>
日時・内容	<p>日時：平成26年9月～ 内容：うんちと食べ物の関係について知る 方法：夏休み中帳に貼ったうんちシール（毎日のうんちの記録）を元にいろいろなうんちの日があった事を振り返る。またうんちの種類ごとのパネルを準備し、うんちと食べ物の関係について知らせる。</p> <p>日時：平成26年10月～ 内容：栄養について知る 方法：食べ物の働きを伝えるために食べ物の赤・緑・黄の分類を知らせ、給食や弁当のおかずの写真を色別のパネルに考えながら貼る。献立の食事を全部貼った後で、パネルを見比べ栄養のバランスや偏りについても気付かせる。</p> <p>食事に対して関心を高め、意欲的に食事をとるようになる。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>赤一血や肉になる</p> <p>黄一体の力になる</p> <p>緑一調子を整える</p> </div> </div> <p>*弁当や給食の献立の一つ一つがどの色にあてはまるか考え、パネルの下の部分に、貼る。</p> <p>日時：平成26年10月～ 内容：田んぼ、畑（土の上と土の中）、木（枝になるもの）、牧場（牛、豚、鳥）、海など、食べ物がどこから来たのかを知る。</p> <p>方法：前回と同様、食べ物の写真やイラストを用いて、子どもの気付きを引き出しながら食の成り立ちに関心を持たせる。貴重な食べ物を作ってくれた人への感謝を気持ちを持つこと、残さず食べる事の大切さに気付かせる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>日時：平成27年3月 内容：弁当作りーバランスの良い食事を知る 方法：お弁当箱の中におにぎりや好きなおかずを詰めて完成させた後に、栄養バランスや偏りについて考える。バランスをよくするにはどうしたよいか考えて再度お弁当箱に詰める。</p>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	学校法人双葉学園 ふたばエンゼル幼稚園		
連携機関・団体	仙台市私立幼稚園連合会		
取り組みの名称	未就園児保育での食育指導 ～給食試食会を通して～	仙台市食育推進計画 推進の柱	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">②</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">③</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">④</div> </div>
日時・内容	<p>1. 日 時 平成27年2月14日（土） 2. 対象者 未就園児親子30組 3. 実施内容・ねらい</p> <p>毎月1回行なっている未就園児保育にて給食試食会を行なった。給食試食会では、入園前の子どもたちが楽しい雰囲気の中で給食を食べ、様々な食材に興味を持つことをねらいとしている。また、保護者の方にも関心を持っていただけるよう、当日のメニューに入っていたほうれん草の栄養や料理のバリエーションを記載した「栄養一口メモ」を配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>① アンパンマンの人形劇 子どもたちの野菜への関心を高めるために、にんじんやトマトなど、子どもたちが知っている野菜でシルエットクイズを行ないました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>②いただきます！！ 初めて見る幼稚園の給食。蓋を開けると、「わ～！！」と歓声があがりました。この日のメニューは、おにぎり(鮭・青菜)、鶏の唐揚げ、ナポリタン、かまぼこ、青菜とベーコンのソテー、ミートボール、オレンジでした。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p>③ごちそうさまでした！！ 「おいしかった！」と完食した子どももいました。鶏の唐揚げやミートボールはほとんどの子どもが食べていましたが、やはり野菜を残す子どもが多く、興味を持つための声かけの工夫が今後の課題となりました。</p> </div> </div>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市保育所連合会給食会委員会		
連携機関・団体	農家レストランもろや 代表 萱場 市子 氏		
取り組みの名称	調理実習「仙台の伝統野菜を使った幼児食」	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>1. ねらい 仙台の伝統野菜について理解を深め、実践につなげる。</p> <p>2. 講師 農家レストランもろや 代表 萱場 市子 氏</p> <p>3. 実施日 平成26年10月7日(火)8日(水)、11月11日(火)12日(水) 13:30~17:00</p> <p>4. 対象者 仙台市の認可保育所(園)の給食担当者(仙台市保育所連合会)</p> <p>5. 参加人数 60名</p> <div data-bbox="662 1079 1356 1422" data-label="Image"> </div> <p>6. メニュー 里芋とツナのおこわ、かぼちゃのすいとん汁、大豆団子、季節の白和え、 仙台白菜と芭蕉菜の卵とじ、りんごのキャラメルソテー</p> <p>7. 実習の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん使用することの少ない仙台の伝統野菜の特徴をわかりやすく説明を受け、実際に仙台白菜と芭蕉菜を利用した調理をし、味わうことができ、興味深い実習となった。 ・品数は多かったが、調理手順などそれぞれ工夫しながら協力しあう姿も見られ、交流を深めながら作業はスムーズにすすめられた。 <p>8. 参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台の伝統野菜を子どもたちにも伝えていきたい。 ・野菜をたくさん使ったメニューで、彩りが鮮やかで食べやすくおいしかったのでぜひ給食に出したい。 		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	特定非営利活動法人 仙台・みやぎ消費者支援ネット		
連携機関・団体			
取り組みの名称	「食の安全，安心」について	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>開催日時：平成 26 年 10 月 21 日（火）AM10：00～12：00 対象・参加者数：成人 16 名 講師：宮城教育大学教授 小金澤 孝昭氏</p> <p>内容</p> <p>○食の安全・安心そして安定とは？ 食の安全・安心そして安定とは 1 セットであり，切り離すことはできないものです。食の安心とは，食の安全の科学的根拠を消費者に分かりやすく伝えることです。食の安心は，生産者が安全内容をきちんと伝えることと，消費者もきちんとそれを理解することによって生まれます。表示にしても消費者に理解できる，表示内容であり，表示内容を消費者が理解する基本情報の提供も合わせて効果を発揮します。生産現場は，安全基準を遵守しているので，安全基準を遵守していれば消費者が理解するものだという考え方が主流となっている。そのため，食の安心は，消費者が勝手に思うこと，といった安心に責任を持たないような安全と安心を切り離す考え方が普及し始めています。</p> <p>○食の安心に必要なこと 食の安全，安心は科学的な安全基準と科学的な安心情報伝達・受容があって成立するものです。安全情報の伝達・受容は，科学的な安心教育と言い換えることもできます。問題なのは消費する側が，原材料や安全基準や製造・生産工程を理解できる受容力を持っているかです。そのためには，消費者に食の安全を理解できる情報と，それを受け取って理解できる受容力を育まなければなりません。現状では，受容力については消費者任せになっています。</p> <p>食べ物かどのように生産・製造され流通し，消費され，廃棄されているのか，全過程について基礎知識がないと，食の安心を理解することは難しいのです。 その意味で食に関する基礎知識を育む食育が重要になっています。 （基本的常識力が落ち始めています）</p>		

○食の安全は、食の安全と生産現場の安全から

私達が食料を消費する時に、食品そのものの安全だけを考えればいいのか疑問です。食の安全は、食品そのものの安全だけでなく生産現場の安全、また、食品廃棄物の処理の安全といった地球環境の安全まで含めたものです。加工食品の場合は、食品の安全、食をつくる場所（工場）の安全は厳しく問われます。

しかし、農林水産業の場合、農産物自体の安全は問われても農産物をつくる場所の安全まで関心を持つ消費者は少ないと言えます。米づくりを例にとると、農薬の残留性は、食の安全基準の中に収まっており、農薬を使用しても食品の安全そのものに問題は生じません。しかし有機農業や無農薬、減農薬の米づくりが大切なのは食品の安全面からだけでなく、むしろ生産の場である地球環境の安全を確保するためのものです。農薬や化学肥料の使い過ぎは水田や地域の生態系に負荷をかけ、生物多様性が保障されなくなります。また、エネルギー使用料の高い農薬や、化学肥料を使用することで、CO₂の排出量を増加させて地域環境に負荷をかけます。こうした農産物をつくる場所としての地球環境の安全面を考えれば有機農業や無農薬、農業の重要性が理解できるのです。

○おわりに

食糧は輸入できても、環境は輸入できません。

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	みやぎ生活協同組合		
連携機関・団体	産直米生産者協議会		
取り組みの名称	「めぐみ野」米バケツ稲栽培コンテスト	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>日時：5月～10月 会場：みやぎ生協店舗（5月バケツと苗・土の配布、10月コンテスト）</p> <p>主食のお米はどんなふうにそだっているのでしょうか。 バケツと苗・土を配布して家庭で稲を育ててもらい、稲がすくすく育つ様子を観察し、育てることについて学んでもらいました。秋に各家庭で育てているバケツ稲を持ち寄り、稲の栽培コンテストを実施しました。 収穫したコメを玄米にして食べるところまで体験しています。 バケツ稲は仙台市内では12店舗で配布し、家庭での稲の栽培を実施しています。メンバー自身が自分で稲を育てる取組みに382家族が参加しています。（県内では18店舗621家族が参加） また、台原店・黒松店・市名坂店にはミニたんぼも設置しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>市名坂店 バケツ稲コンテスト （10月19日）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>桜ヶ丘店 バケツ稲の審査</p> </div> </div>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	生活協同組合 あいコープみやぎ		
連携機関・団体	生協あいコープみやぎの提携する農業生産者		
取り組みの名称	優ぶらんどを応援しよう		仙台市食育推進計画 推進の柱 ① ② ③ ④
日時・内容	<p>◆日 時 2014 年度通年 次年度以降も引き続き行う</p> <p>◆対 象 あいコープみやぎ組合員とその家族</p> <p>◆ねらい 農薬削減(新栽培基準)を目指す生産者の挑戦を学び、利用、支援する</p> <p>◆内 容 あいコープみやぎでは、2010 年に開催した有害化学物質を学ぶための学習会で、ネオニコチノイド系農薬の危険性を知りました。それ以来、生産者はネオニコチノイド系農薬以外に、土壌消毒剤や除草剤なども使わず特別栽培レベルの達成を目指し始めました。目的を達成した農産品には『優ぶらんど』の称号が付けられます。そして組合員は、農薬の危険性だけではなく、なぜ使われているのか、生産現場ではどういう背景があるのかも学び、その優ぶらんどを目指す生産者と交流をし、買って食べる応援を続けています。今年度は支援金をもって応援するという新たなシステムを作りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年 有害化学物質の学習会を開催。ネオニコチノイド系農薬の危険性を知る。 ・ 2011 年 ネオニコ不使用の稲作に取り組み、達成。 ・ 2012 年 県内産直産地全ての田んぼでネオニコ不使用を達成。組合員は斑点米(カメムシによる食害)を試食しながら農薬について学ぶ。野菜についても取組みが始まり、最も難しいとされる果樹栽培でも模索を始める。 ・ 2013 年 天童果実同志会がネオニコ不使用の実験栽培を決定、『やっぺしりんご』と命名し、組合員から支援オーナーを募集。80 名の募集に 450 名が応募。オーナーは現地見学や定期的に発行されたニュースで生産現場を学び、収穫されたりんごを受け取った。 		



天童果実同志会『やっぺしりんご』圃場見学

- ・2014年 ネオニコ・除草剤・土壌消毒剤などを不使用とする栽培基準改定案に対する取り組みを生産者に要請。5年後の施行を目指す。

優ぶらんどマークを記載した商品カタログ

迫NF自然村が、農薬不使用で栽培しました。



追ナチュラルファーム自然村(宮城)

89 防除0/17(特選)
迫のコシヒカリ(農薬不使用)
 5kg **3080円(税込3326円)**

農薬の削減に取り組む追ナチュラルファームが、農薬を使わずにコシヒカリの栽培をしました。白米に精米しお届けします。

ネオニコ不使用で『優』になりました。

優ぶらんどとは…

- 1 禁止農薬(ネオニコチノイド系有機リン系など)、除草剤、土壌消毒剤を使わない。
- 2 慣行栽培に比べ農薬の使用成分を半分以上(特栽培レベル)に抑える。

天童果実同志会では全てのりんご園でネオニコ不使用に取り組む事を決定。新栽培基準を達成した農産物を『優ぶらんど』として認定し、注文カタログにも表示。

『やっぺしりんご』の支援オーナー制を継続。

産地の新栽培基準への取り組みを支援するための『優ぶらんど支援金』の募集を始める。

【2014年組合員と生産者の交流】

- ◆産直産地へ親子で訪問し、優ぶらんどへ向けた取り組みや問題点、苦労などを学び、買って応援する必要性を認識。 延べ140名程



除草剤不使用のため雑草が多いたんぼ。実際に生産現場を見ると手元に届く農産物のありがたさが良く分かる



圃場を見てお話を聞いた後は、おいしい農産品をいただきます！



- ◆生産者を招き、農産物のおいしさを堪能しながら産地の様子を学ぶ。
全 10 会場 延べ参加人数 250 名程



生産者と一緒に食べるごはんは格別！これからも応援します！



- ◆食べてみたいでしょ、ウチのあいごはん
(組合員が生産者を自宅に招き、あいコープ商品で作ったメニューでおもてなしをする企画) 全 10 会場 延べ参加人数 150 名程

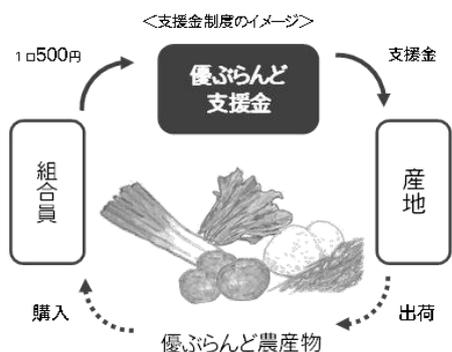


**いつも安全安心な食材を作るために努力してくださって感謝です
私たち自慢のメニューで、おもてなしさせていただきます！**

- ・2015年 1月 『優ぶらんど』へ向けた取り組みの報告を生産者が組合員へ発表、努力を続ける生産者へ組合員から募った支援金を贈呈。組合員、職員、農産関係者以外の生産者を含め、104名が参加した



農産6団体が農薬削減を目指し、作物や産地に合った農法を採ったこの一年の取組みや実験を報告。



優ぶらんど支援金贈呈式

参加者の声

- ・自分が食べている物に対して知らないことがいっぱい。興味深く聴かせて頂きました。今日の報告会を聞いてから食事をするとうさらに体の栄養になります。
- ・今日の報告会は素晴らしいかったです。生産者の皆さんの本気度がしっかり伝わったと思います。
- ・草取りが大変だと発表にありましたが組合の方でも応援の仕方考えた方がいいかもしれません。

今後も顔の見える関係を築き、安全安心な食材の生産現場を知り、応援する組合員を増やしていきます。

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城食生活改善推進員会）		
連携機関・団体			
取り組みの名称	①おやこの食育教室 ②「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>①おやこの食育教室（大倉食改） 平成 26 年 12 月 23 日（火） 対象者：地域のこども（幼稚園年長から小学生までのおやこ 52 名参加） 場所：西市民センター メニュー：おくずかけ、トマトとツナのチーズ焼き、変わりいなり 2 種類 内容：こどもの食育は人格形成期の大切な時期である。味覚を始め豊かな感性を培い、心と身体のバランスのとれた人格形成に寄与するための体験学習を通して「食育 5 つの力」を養う。今年は、「選ぶ」を重点テーマとし、協会作成の「バランスプレート」を使い、おやこで作った料理をバイキング方式で選びながら食事バランスガイドを完成させて、こどもの様々な能力を見出す絶好の機会と親に共食の大切さを感じ取ってもらう事を大きな目的とする。 感想：食べ物に感謝してバランス良く選ぶ力が少しは身についたと思います。</p> <p>②平成 26 年度「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第 2 弾） 平成 27 年 2 月 5 日（木）10：00～13：00 場所：宮城保健センター 参加者：地域住民 12 名と食改員 11 名（宮城食改全体としての事業） 内容：健康日本 21（第 2 次）において示されているソーシャルキャピタルの大切さを示し、健康づくり活動をとおして地域のつながり、人と人とのつながりを深める。お隣りさん、お向かいさんを訪問し「減塩くん」を使い、みそ汁の塩分チェックと野菜あと 1 皿（70g）の必要をリーフレットにより普及に努める。</p> <p>①「TUNAGU」繋ぐパートナーシップ事業について説明 ②生活習慣病予防について（BMI 計算尺・メタボメジャー使用） ③正しい食習慣について ④低栄養についてとロコモ予防運動実施 ⑤調理実習（減塩とあと 1 皿の野菜メニューの実習） 献立：主食（炒め変わりそば）、主菜（大根と鶏肉の炒め物） 副菜（あさりとコーンの和風チャウダー）</p>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（秋保食生活改善推進員会）		
連携機関・団体			
取り組みの名称	①野菜を1日5皿食べよう講習会 ②肥満予防講習会	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>①野菜を1日5皿食べよう講習会 平成27年1月21日（水） 対象者：あきう幼稚園の保護者（15名参加） 場所：秋保総合支所分庁舎 内容：「食事バランスガイド」を重点に考えて、1日「何を」「どれだけ」食べたら良いか、さらにバランス良く食べて運動するとコマは安定して回ることを説明しました。又、果物は1日200g程度食べましようという資料に基づいてお話をし、調理実習に入りました。 献立：ごはん、焼き鮭の南蛮風味、やわらかきんぴら、ハウレンソウとしめじのごま和え、かぼちゃのそぼろ煮、切り干し大根サラダ、チーズと大根の梅肉和え、みかん 沢山の種類の野菜の中で、調理方法によって変身していく1品1品に感心しながら調理していました。今後も「1日350gの野菜」を目標に「献立を考えながら家族の健康をも考えながら頑張っていきます」とお話してくれましたので、私達食改員も大満足でした。</p> <p>②肥満予防講習会 平成27年1月30日（金） 対象者：40～70歳主婦（14名参加） 場所：秋保総合支所分庁舎 ◆「自分の適性体重を知り、日々の活動に見合った食事量を」と資料に基づいて、各自適正体重を計算し「BMI22」を基準として、自分の肥満度をチェックしました。 ◆ 栄養バランスとしては、健康の維持・増進のために、エネルギー収支バランスを適正に保ち、必要な栄養素を過不足なく摂取することを基本に調理実習をしました。 献立：玄米ごはん、さんまの韓国煮、春雨のカレー炒め、海藻サラダ、長ネギのすまし汁（501kcal、塩分3.5g） 参加者全員、大変興味を持って調理していました。特に玄米ごはんは、一番感心していました。又、1食500kcalを目標に頑張っていきますとみんな口々に言ってくれましたので、私達改員も大変嬉しく思いました。今後もより一層活動を頑張っていきたいと思えます。</p>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	公益社団法人 宮城県栄養士会		
連携機関・団体	後援：宮城県 仙台市 協賛：ヤクルト		
取り組みの名称	「健康づくり提唱のつどい」 in 宮城 「腸の元気は長生きの秘訣」	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>平成26年10月25日（土）13：00～16：30 せんだいメディアテーク スタジオシアター 参加者：96名</p> <p>内容</p> <p>講演1 「生活習慣病と食習慣について」 東北大学メディカルメガバンク機構 教授 寶沢 篤先生</p> <p>講演2 「栄養改善と食育」 仙台市宮城野保健所 所長 坂東 毅彦先生</p> <p>講演3 「腸の働きとプロバイオティクス」 (株)ヤクルト本社広報室 参事 早川 和仁先生</p> <p>3講演では、日本人固有の食事が健康長寿を支えている可能性があり ただし、塩分摂取対策は必要。健康教育の必要性と食育で、人と関わる こと、一緒に食べる楽しさ、分かち合う喜びの体験・機会を家族や地域 に代わって食育が担っていること。腸内環境を整えることが健康寿命を 延ばすことにつながることを確認しました。</p>		
			

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	公益社団法人 宮城県栄養士会						
連携機関・団体	日本健康運動指導士会宮城県支部・(一社)宮城県薬剤師会・(社)宮城県歯科医師会・宮城県歯科衛生士会・(公社)宮城県看護協会・(一社)宮城県臨床検査技師会・(公社)宮城県柔道整復師会・(株)ヤクルト・(株)H+Bライフサイエンス・(株)小田島アクティ仙台営業所・伊那食品工業(株)・大塚食品(株)仙台支店・(株)大塚製薬・ヘルシーハット・学校給食パン共同組合・パールライス・(株)服部コーヒー・宮城県味噌醤油工業協同組合・明成高校・シバティンテック株式会社						
取り組みの名称	県民のための公開講座&「第11回 いい日 いい汗栄養まつり」	仙台市食育推進計画 推進の柱	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table>	①	②	③	④
①	②						
③	④						
日時・内容	<p>【日 時】平成26年11月23日11:00~16:00</p> <p>【場 所】ネ！ットU 仙台情報産業プラザ(アエル5F多目的ホール)</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座:「長生きのコツは大豆から」~大豆(ソイ)の活用~ 時間/14時30分~15時30分 会場/6Fセミナールーム 跡見学園女子大学 石渡 尚子 先生 ・ステージイベント:健康運動指導士によるお手軽体操 未来の管理栄養士による食育ショータイム ・展示コーナー:宮城県産米のおにぎりと学校給食米粉パンの展示 生活習慣病予防食品・アレルギー対応食品・防災関連食品 仙台市の予防介護事業の紹介 ・体験・相談コーナー:管理栄養士によるお食事バランスチェック 看護師による健康相談(血圧・ストレスなど) 歯科医師・歯科衛生士による歯周病検査とお口のケア 薬剤師による薬の相談・禁煙相談・睡眠チェック・ 臨床検査技師による血管年齢チェック 柔道整復師による首・肩・腰・膝などの痛み相談 肥満・体脂肪チェック <p>【参加数】 入場者数:550名</p>						

【まとめ】

当日は関係団体・宮城県栄養士会員含め関係スタッフの協力のもと開催することが出来ました。県民の健康・食生活の見直しを図り、健康づくりに必要な情報提供と食育の推進活動を目的に実施しています。栄養相談コーナーを体験して頂いた方のご意見で「普段から食事には気をつけているが、改めて食べる事の大切さがわかった。」「宮城県民は塩分がとりすぎだと分かった」「自分は肥満なんだと気づいた」などがありました。改めて自分の食生活や健康について考えて頂くきっかけになったようです。また、その他にも「とても楽しい」との声が多数あり、県民の皆さまに「楽しみの場」を提供できた事も良かったと思います。



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

主体名	仙台市地域活動栄養士会 子どもの食事研究グループ		
連携機関・団体			
取り組みの名称	小さな子どものお食事&クッキング 「託児つき料理教室」	仙台市食育推進計画 推進の柱	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">②</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">③</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin: 5px;">④</div> </div>
日時・内容	<p>乳幼児を家庭にもつ保護者向けの食育講座・調理実習 年1回ペースで開催。H26年で第21回目となる。</p> <p>毎年、メイン講師・サブ講師を決め、チラシを作成し、各児童館、市民センターや子育てサークル等に配布、リビング仙台などの掲載などの機関誌で募集を募る。</p> <p>当日は 母親が調理室で実習をしている間、別室で調理担当以外のグループスタッフが託児を担当する。</p> <p>託児をするのが初めて、という親子も多く、託児室での前半は、泣き声の大合唱だが、後半は慣れてきて笑顔で遊び始めるお子さんがほとんど。託児に不安だった母親も、お迎えに来た時の笑顔を見て我が子の成長を感じたり、少しでも自分だけの貴重な時間が持てリフレッシュできた、楽しかった、との感想がある。</p> <p>メニューは 手のかからない時短レシピ・身近にある食材で作れる・苦手な野菜も美味しく食べれる・バランス良い内容を意識しながら考案している。</p>		



H26年10月28日(火) (参加者：親子18組)
テーマ「野菜を美味しく食べよう♪お手軽イタリアン」

メニュー ☆お鍋ひとつで! トマトペンネ
☆野菜のフリッタータ(イタリア風オムレツ)
☆カラフルサラダ
☆パンナコッタ



参加者アンケートより

- ・料理の受講に集中できたことが良かった、楽しかった
- ・リフレッシュできた・息抜きできた
- ・あっという間でしたが、充実した時間だった
- ・初めての場所での託児で大丈夫かなと思ったが、調理するのは楽しかった
- ・お互い初めてで不安もあったがいい経験だった
- ・託児付きのイベントにまた参加したい
- ・自分だけの時間が久しぶりに作れて良かった
- ・落ち着いて参加できた
- ・のびのびでき、楽しかった
- ・身軽で良かった
- ・いつもは後追い、ぐずられながらの苦痛の料理。今日は楽しくできてほんの少しゆったりできた
- ・心配もあったが、ときどき離れてみるのはとても良い機会だった
- ・親子共に成長できた
- ・メニューすごく良かった、料理苦手だけど、子どもとは教室に通えないので回数を増やしてほしい
- ・簡単、美味しい、野菜もいっぱい。さっそく作ります!
- ・家庭でも実践できるメニューで良かった。テクニックも参考になった

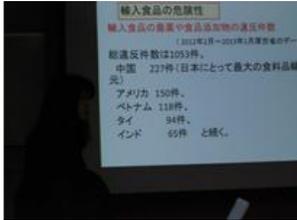
食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

<p>主体名</p>	<p>仙台白百合女子大学健康栄養学科学生</p>		
<p>連携機関・団体</p>	<p>オジマスカイサービス穂野かとの共同事業</p>		
<p>取り組みの名称</p>	<p>女子大生考案「地元野菜や魚介類を取り入れた弁当」企画販売</p>	<p>仙台市食育推進計画 推進の柱</p>	<p>① ② ③ ④</p>
<p>日時・内容</p>	<p>仙台白百合女子大学健康栄養学科高澤ゼミ生9名考案、オジマスカイサービス穂野かさん作製の弁当2種を販売させていただきました。宮城県の復興の一助となるために地元の旬の野菜類を使用し、一般の方々からだにやさしい弁当の提供を目的に企画いたしました。2種類のお弁当の内容は、食欲増進・疲労回復・夏バテ解消に役立つ夏の味覚かつおや生姜を取り入れた青葉のたより弁当（左上写真）と女性に不足しがちな鉄分を多く含む食材を取り入れたおひさま弁当（左下写真）です。色彩豊かな夏の野菜や魚類を使って、からだと心に元気とおいしさを提供しました。</p> <p>販売期間、場所等は以下のとおりです。</p> <p>販売期間：平成 26 年 7 月 19 日(土)～31 日(木)</p> <p>販売時間：11 時から</p> <p>販売場所：泉中央セルバ地下1F 穂野か</p> <p>販売数：青葉のたより弁当 15 食 おひさま弁当 15 食</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

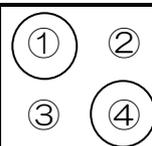
主体名	仙台市富沢市民センター市民企画講座		
連携機関・団体	仙台白百合女子大学健康栄養学科学生による企画		
取り組みの名称	市民企画講座 「健康は、毎日食べる野菜から」	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>「食」の目的の原点は生きることであり、食の場は家族の団欒や人とのコミュニケーションの場として欠かせないものです。今日の日本の食の問題は栄養の偏り、生活習慣病の増加、食の海外への依存など多岐にわたっており、食の問題が改善できるきっかけづくりとなるような講座を女子大生と市民センター職員が協働で企画実施しました。</p> <p>今回は、子どもの食の問題として指摘されている野菜の好き嫌いに焦点を当て、第1回目は野菜の栄養、抗酸化作用、免疫作用、解毒作用等についての講話を、第2回目は野菜嫌いの子どもに対して食べやすくするための工夫のひとつとして野菜入りお菓子づくりを以下とおり行いました。</p> <p>①講話「野菜と育もう！未来の健康」</p> <p>日時：平成27年2月21日(土)10時～12時 場所：富沢市民センター 第1会議室 対象：小学生の保護者</p> <p>これまでの日本の食事情の変遷と今日の食の問題、野菜の効能について仙台白百合女子大学高澤准教授が講話を行い、参加者に食への安全性の意識向上や将来の生活習慣病のリスクを低減性が期待できる野菜の重要性について認識してもらいました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>講話の様子</p> <p>②実習「野菜で作るお菓子ってどんな味？」</p> <p>日時：平成27年2月28日(土)10時～12時30分 場所：富沢市民センター 調理室 対象：小学生と保護者</p> <p>野菜嫌いの上位にあげられているにんじん、ほうれんそう、ごぼうを取り上げ、食べやすく工夫したにんじんとほうれんそうのスティックビスケット</p>		

ト、にんじんのブラマンジェ、ごぼうのココアホットケーキを親子で作り
ました。オプションとしてほうれんそうのパイ包み焼き、小松菜入りご
飯せんべいにも挑戦しました。作り終えてみんなで試食すると子どもた
ちは「自分のつくったものが一番おいしい」といいながら完食しました。
野菜の好き嫌いはどこへやらといった感じでした。実習前と試食後に学生
たちによる野菜の栄養教育が行われ、子どもたちは真剣に聞き入っていま
した。今回の講座をとおして、つくることの楽しさや食の安全性や見直し
のきっかけの一助となったことと思います。



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市市民局市民協働推進部消費生活センター		
連携機関・団体	—		
取り組みの名称	消費生活講座	仙台市食育推進計画 推進の柱	
日時・内容	<p>○事業のねらい</p> <p>消費生活に関するさまざまな知識や情報を提供し、日常生活で活用していただくことを目的に年に数回開催しており、「食」も重要なテーマのひとつとしている。</p> <p>【平成 26 年度開催内容】</p> <p>○開催日 平成 26 年 11 月 18 日（火） 13：30～15：30</p> <p>○会場 エル・パーク仙台 セミナーホール</p> <p>○参加者数 79 名</p> <p>○テーマ 「今こそ知りたい！食の安全・安心と食品表示の話」</p> <p>○講師 宮城大学 名誉教授 池戸 重信 氏</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食物と人間との関係の変化 2 食の安全性の現状と対策の法的位置づけ 3 フードチェーンにおける自主管理手法導入制度の動向 4 食品表示ルールを活用した家庭での安全な食生活 <p style="text-align: right;">   </p> <p>近年、相次ぐ食品偽装や、食品表示に関する制度の複雑化から、「食の安全」について漠然とした不安を抱える消費者が増えてきている。</p> <p>そこで、食の安全・安心について正しい知識を習得していただくとともに、平成 27 年度から施行される新たな食品表示のルールについて学ぶ機会を提供することで、食育推進の一助とすることを目的とし、本講座を開催した。</p> <p>当日は、食中毒を防ぐための 6 つのポイントや食品表示に関するクイズ、新たな食品表示ルールの概要などのお話があり、受講者からは、「テンポの良いお話に楽しく学ぶ事ができました。」</p> <p>「幅広い実生活に役立つ講座で、とても勉強になりました。今日から食品の見方やキッチンの衛生面にも気を配りたいと思います。」等の感想をいただいた。</p> 		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市健康福祉局保健衛生部健康増進課		
連携機関・団体	食事改善プロジェクト, NPO 高血圧協会宮城支部, 宮城県健康推進課		
取り組みの名称	「塩 eco」啓発	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>子育て世代が集まるイベントにおいて、子育て世代が食習慣を見直すきっかけとなるような情報を発信しました。</p> <p>① 子育て応援団すこやか 2014 平成 26 年 10 月 18 日, 19 日 場所：グランディ 21</p> <p>「塩 eco」キャンペーンとして、食事改善プロジェクトと宮城県健康推進課との共催でブースを出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しお eco ポテト」による“塩味”体験 … フライドポテトに少量の塩とカレー粉や青のりなどをまぶして、塩分控えめでフライドポテトを食べられることを体験する。 ・「しおが多いのはどっち!？」クイズ ・栄養成分表示の活用に関する展示 ・塩 eco パンフレット等の配布 <p>参加者数 約 300 人</p>  <p>② 第 11 回仙台市 PTA フェスティバル 平成 26 年 11 月 9 日 場所：勾当台公園市民広場</p> <p>生活習慣予防コーナーとして、NPO 日本高血圧協会宮城支部と宮城県健康推進課との共催でブースを出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドクター今井の塩分・栄養診断システムによる、塩分量チェック ・血圧測定、健康相談 ・「塩 eco」クイズ ・リーフレット等の配布 <p>参加者数延べ 850 人</p> 		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市健康福祉局生活衛生課		
連携機関・団体	公益社団法人 仙台市食品衛生協会		
取り組みの名称	食品の安全性に関する講演会	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>ノロウイルスによる食中毒は年間を通して発生しており、特に冬期に多発し、大規模な集団食中毒も発生している。そこで、ノロウイルスに関する正しい知識を提供し、ノロウイルスによる食中毒の予防と拡大防止についてわかりやすく解説していただき、さらに参加者との意見交換・質疑応答も行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時：平成 27 年 1 月 15 日（木曜日） 13 時 30 分～16 時 00 分（開場 13 時 00 分） 2. 場所：せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアター 仙台市青葉区春日町 2-1 TEL：022-713-317 3. 内容：「ノロウイルス食中毒対策について」 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第四室長 野田 衛 氏 4. 参加人数：146 名 		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市子供未来局保育部保育課 飯田保育所		
連携機関・団体			
取り組みの名称	トマトソース作り	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>【日 時】平成 26 年 8 月 27 日（水）</p> <p>【場 所】保育室</p> <p>【対象者】1・2歳児 14 名</p> <p>【ねらい】畑での収穫を喜びながら、調理活動に携わり、楽しく食べる</p> <p>【内 容】子どもたちが、春から園庭の畑で育てていたトマトを収穫し、ビニール袋に入れて、感触を楽しみながらつぶしました。そのつぶしたトマトを使ってトマトソースを作り、給食時にハンバーグのソースとして味わいました。</p> <p>【感 想】トマトを手でつぶしていくと、中からジュースが出てきたり、種や、泡が出てきたことに驚き、「泡になった!」「トマトぐちゃぐちゃ!」と感動や楽しさを保育士に伝える子どもがたくさんいました。</p> <p>収穫して調理し、食べるという一連の流れがあったことで、子どもたちにも理解しやすかったと思います。</p> <p>普段トマトが苦手な子どもも“自分がつぶしたトマトだ”という思いから、「おいしい、もっとちょうだい!」とたくさん食べてくれました。</p>		
			

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市子供未来局保育部保育課七北田保育所		
連携機関・団体			
取り組みの名称	よもぎ団子づくり	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>日 時：平成 26 年 5 月 27 日（火）</p> <p>参加者：年長児（4、5 歳児混合）クラス 24 名</p> <p>ねらい：旬の食材について知り、実際に食べてみる。 みんなでおやつづくりを楽しむ。</p> <p>内 容：団子の材料を実際に混ぜる行程を見て、生地を団子状に丸めた。 保育所の小さい子ども達（3 歳未満児）も食べることを意識して自分たちが食べるものより小さめに丸めるなど、ねらい以上に、年長児としての成長した姿を見ることができた。 馴染みのないよもぎを保育に取り入れてもらい、活動前に実際に見たり触ったりしてから調理をしたことで、意欲的に取り組むことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>活動の様子を写真で掲示したところ、家庭でも親子で団子を作ったという話が聞かれた。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 歳児クラスの子ども達も見学という形で参加した。緑色の団子を興味深げに見ていた。</p> </div> </div>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市経済局農林部農政企画課・農業振興課		
連携機関・団体	仙台農業協同組合、(公財)仙台市産業振興事業団		
取り組みの名称	第26回仙台市収穫まつり ～“ここでちゃん”と 食育・地産地消を進めよう!～	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>◎開催目的 生産者と消費者の交流を通じて地産地消を推進し、消費拡大と市域農業の振興を図る。</p> <p>◎開催日時 平成26年11月11日(火)10時～15時</p> <p>◎開催場所 勾当台公園市民広場</p> <p>◎来場者数 8,633人</p> <p>◎開催内容</p> <p>1) 農産物の販売等 24店舗出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売コーナー(地場産野菜、農産加工品、鉢花など) ・軽食コーナー(豚汁、おにぎり、お餅など) ・木(気)になるコーナー(リース作り体験) ・福祉施設コーナー(菌床きのこ、お菓子、手工芸品など) <p>2) 仙台市ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化商品のPRと販売(仙台あおばスイーツ) ・仙台市農業委員会の紹介 <p>3) 同時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消講演会:参加者 66名 テーマ:生産者と消費者の絆づくり! ～作ることと食えること、消費者にできること～ 講師:(有)青空市場 代表取締役・俳優 永島 敏行 氏 		
			
	農産物の販売	仙台あおばスイーツの販売	

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市経済局農林部農業振興課		
連携機関・団体			
取り組みの名称	仙台産農産物親子お料理教室	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>◎目 的</p> <p>地産地消による食育が注目される中、旬の仙台産農産物について学びながら、新鮮な地場食材を使った料理を親子で作っておいしく食べる仙台産農産物親子お料理教室を開催することで、食育・地産地消への関心を高める。</p> <p>◎開催日時（テーマ）</p> <p>第1回：平成26年9月13日（土）（秋野菜） 第2回：平成26年12月21日（日）（クリスマス） 第3回：平成27年2月22日（日）（仙台あおば餃子）</p> <p>◎開催場所</p> <p>ガス局ショールーム「ガスサロン」</p> <p>◎参加人数</p> <p>40人（延べ数）</p> <p>◎内 容</p> <p>（1）仙台産農産物について学ぶ 実習の前に、旬の仙台産農産物等についてクイズを交えた講義形式で説明。これから料理する地場食材等について学んだ。</p> <p>（2）仙台産農産物を使った料理の実習 講師による料理の説明とデモンストレーションの後、管理栄養士の指導のもと、3つのグループに分かれて仙台産農産物を使った料理を親子で作って試食した。</p>		
	 		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市中央卸売市場業務課		
連携機関・団体	仙台おさかな普及協会（主催）		
取り組みの名称	サンマ食育授業	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>平成26年9月9日（火） はぐくみ幼稚園（仙台市青葉区） 200名参加</p> <p>平成26年10月10日（金） 向山幼稚園（仙台市太白区） 280名参加</p> <p>平成26年10月22～24、28～31日 延べ7日間 富沢中学校（仙台市太白区） 9クラス 342名参加</p> <p>平成26年11月13日、20日 延べ2日間 東華中学校（仙台市宮城野区） 4クラス 110名参加</p> <p>平成26年11月21日（金） 田子中学校（仙台市宮城野区） 5クラス 140名参加</p> <p>計 5施設 1072名参加 提供サンマ：1200尾</p> <p>目的：保育園から中学生までの子供達に、調理を通じて「旬」のサンマの美味しさを体験してもらい、「食」の大切さを知ってもらう。</p> <p>内容：子供達が炭火でサンマを焼き、焼き立てを丸ごと食べたり、三枚おろしにしてつみれ汁を作り食べてもらう。</p>		
			
	サンマ焼き		サンマの試食

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市中央卸売市場業務課		
連携機関・団体	北海道産青果物拡販宣伝協議会、ホクレン農業協同組合連合会 (株)宮果、仙台やさい・くだもの普及会		
取り組みの名称	北海道農産物の出前授業 ～「じゃがいも博士」になろう～	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>日 時：平成26年11月20日（木）8時50分～12時25分 会 場：田子小学校 対象者：5年生 83名（3クラス）</p> <p>目 的 食の大切さを伝えるため、食育の一貫として、子供たちに身近な料理の材料の「じゃがいも」について、北海道のホクレン農業協同組合連合会、生産者の方々が講師となり、直接子供たちに出前授業を行う。</p> <p>内 容 ①北海道産地、北海道野菜の紹介 ②じゃがいもの栽培、品種について 栽培についてのビデオ上映、4種類のじゃがいもの食べ比べ等、 ③じゃがいもを使ったメニューの給食を試食</p>		
	 <p>生産者の話</p>		
	 <p>試食の風景</p>		
	 <p>じゃがいも4品種</p>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市中央卸売市場業務課		
連携機関・団体	仙台おさかな普及協会、やさい・くだもの普及会（主催）		
取り組みの名称	夏休み親子市場見学会	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>日 時：平成26年8月2日（土）、20日（水） 午前5：50～9：00</p> <p>参加者：小学生とその保護者 延べ30組73名</p> <p>目 的 セリの様子など、普段は見ることのできない早朝の市場を見学することで、魚や野菜・くだもの流通を知り、もっと興味を持ってもらう。</p> <p>内 容 ①水産卸売場見学（実際のセリの様子やさまざまな魚を間近で見学） ②水産仲卸売場見学（マグロの解体・試食） ③青果卸売場見学（見学コースから売場・セリの見学、果物の試食） ④市場の話（市場の仕組みや魚・野菜・くだもの・食品衛生の話） ⑤市場内食堂で朝食（新鮮な市場丼の朝食）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>マグロ低温売場見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>近海・特殊魚のせり場見学</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>マグロの解体見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>青果卸売場の見学</p> </div> </div>		

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市青葉区宮城総合支所保健福祉課		
連携機関・団体	仙台市宮城食生活改善推進委員会		
取り組みの名称	宮城地区子育て支援プロジェクト「チーム ai 子・ママカフェ」（おくずかけ調理実習と試食提供）	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>「チーム ai 子」は宮城総合支所保健福祉課が進めている「宮城地区子育て支援プロジェクト」において、子育て中のママが地域で活躍する場として誕生しました。チームメンバーが中心となり、地域の親同士の交流・情報交換の場として「ママカフェ」を毎月実施しています。その中で、子どもの健康や季節感を考慮したおやつと食事の調理体験・試食提供を行い、親子で食に興味を持てるよう、食育に取り組んでいます。</p> <p>11月には、宮城の郷土料理を食べたことがないという若い世代の方々に地域の味を知ってもらおうと、仙台市宮城食生活改善推進委員会会員が講師となり、「おくずかけ」の調理実習を行いました。また、参加者と作ったおくずかけは参加者全員に試食として振る舞い、郷土料理に親子で親しんでもらえるよう、活動を行いました。</p> <p>【日時】 平成26年11月7日（金）9:50～12:00 【場所】 宮城保健センター 【対象】 宮城地区で子育て中の母親と子 【参加者数】 調理実習：10名 試食：母32名、子34名</p>		
			

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課		
連携機関・団体	宮城野区中央市民センター		
取り組みの名称	みやぎの食育サポーター養成講座 (食育サポーター養成講座)	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>○ねらい 現在、食育サポーターグループ「もぐもぐ」「ラッタッタ」「郷土料理つたえ隊」が市民センターなど地域で活躍しており、ニーズが増えてきていることから、さらに充実した活動を続けていけるよう、食育サポーター強化として、各グループの追加メンバーを養成する。実施については、宮城野区中央市民センターとの共催事業とする。</p> <p>○対象 食育活動に関心があり、講座終了後食育活動したい区民</p> <p>○募集方法 宮城野区のホームページに掲載 市政だより(区版)、市民センターだよりに掲載 区役所と市民センターにチラシ、ポスター設置 など</p> <p>○開催日及び内容</p> <p>①10月1日 講話「仙台市の食育の取り組み」 // 「市民センターでの『食』の講座」 食育サポーターの活動紹介 意見交換「私の考える食育」</p> <p>②10月8日 講話「バランスのよい食事」「調理における衛生管理」 調理実習・試食「簡単朝ごはんメニュー」 // 「手軽でヘルシーこどものおやつ」</p> <p>③10月15日 講話「高齢者の食事」「災害への『食』の備え」 調理実習・試食「高齢者の低栄養を防ぐ食事」</p> <p>④10月22日 講話「食事バランスガイドの活用」 // 「健康づくりサポート店」 // 「栄養成分表示の活用」 食育サポーターが作った料理の試食 これからの活動について</p>		

○参加人数

- ①10月1日 13人
- ②10月8日 10人
- ③10月15日 9人
- ④10月22日 8人

○食育サポーターグループへの加入希望状況

- もぐもぐ 4人
- ラッタッタ 2人
- 郷土料理つたえ隊 2人



1回目
食育サポーターの活動の紹介
の様子



2・3回目
調理実習・試食の様子



4回目
これからの活動について
の様子

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市若林区保健福祉センター 家庭健康課		
連携機関・団体	若林市民センター		
取り組みの名称	若林市民センター・若林児童館連携事業 ～「子育てタイム」“食”を楽しもう!～	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>◆日 時：平成26年5月29日（金） 10：30～12：00</p> <p>◆ね ら い：子育て中の保護者が、託児付き講座に参加して気分転換するとともに、保護者同士が食を通して交流し、情報交換することで、子育て環境の充実につながるよう企画された講座です。3回コースのうち1回目が食育講座で、食育講話と情報交換を実施しました。</p> <p>◆場 所：若林市民センター 会議室兼調理実習室</p> <p>◆参加者数：1歳以上4歳未満児の保護者 9名</p> <p>◆内 容：【講 話】 「食”を楽しもう！」 ① おいしい、楽しいと感じる食卓を大切に ② 一緒に食事づくりを ③ 生活リズム 食事リズム ④ 食事の内容 ⑤ おやつは食事の一部 ⑥ 飲み物 ⑦ その他（年齢に応じた調理の工夫、レシピ紹介、災害への食の備え）</p> <p>【質疑応答・情報交換・個別相談】</p> <p>【当日の様子】 質疑応答では、食についての悩みや知りたいことなど、数多くの質問が出されました。また、保護者同士の情報交換も活発に行われ、和やかな交流がなされました。</p>		



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市太白区保健福祉センター 家庭健康課						
連携機関・団体	太白区管内食育推進連携事業推進施設（以下推進施設）36ヶ所 幼稚園3ヶ所、民間保育園13ヶ所、公立保育所12ヶ所、小学校8ヶ所						
取り組みの名称	太白区管内食育推進連携事業 「Morning Vegetable～朝食に野菜を～」	仙台市食育推進計画 推進の柱	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table>	①	②	③	④
①	②						
③	④						
日時・内容	<p>【取り組みの目的】</p> <p>若い世代や子育て世代が「朝食を毎日食べるようになる」「朝食の内容が充実する」ことを目指し、食育推進の標語を「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」略して通称「モーベジ！」とし、太白区管内食育推進連携事業推進施設（以下推進施設）が連携をとりながら、標語の浸透を通し朝食に関する取り組みをすすめている。</p> <p>今年度は、これまでの取り組みに加え、食育に関する情報が届きにくい幼稚園と大学生等への啓発に力を入れた。</p> <p>【平成26年度取り組み内容】（H27. 2月末現在）</p> <p>1. 「モーベジ！」の普及・啓発</p> <p>● 情報紙「モーベジ！通信α」の発行</p> <p>太白区内の幼稚園保護者と大学生に配布 幼稚園16施設5回 大学2施設4回（延べ16,025枚）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝食を食べる、朝食の内容が充実することが習慣となるよう啓発。 ・A4両面カラー印刷 表面：トピック記事として生活リズム、目覚ましストレッチ、朝ごはんで工夫していること等。裏面：簡単に作れる朝食レシピや市民に募集して寄せられたモーベジアイデアを紹介。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="497 1523 861 2060"> <p>「モーベジ! 通信α」の表紙と、野菜の活用アイデア、レシピ、生活リズムに関する記事の抜粋。</p> </div> <div data-bbox="925 1523 1292 2060"> <p>「体が温まるあったかスープ」のレシピカード。材料、分量、作り方、栄養成分が記載されている。</p> </div> </div>						

● 朝食に関するアンケートの実施

- ・朝食に関するアンケートを情報紙配布前後に実施。
(幼稚園 5 施設、大学 2 施設)
- ・アンケートに協力していただいた各施設に集計結果を届け、現在の施設の状況を報告 (5 施設)。うち 1 施設ではアンケート集計結果を園便りとして保護者へ配布していただいた。

朝食に関するアンケート

本学では、大森保健医療福祉専門学校「Morning Vegetable-朝食に野菜を-」の一環として、ご家庭での朝食等の状況を把握する目的として実施するものです。ご協力をお願いいたします。

○お子さんの朝食についてお聞かせください。

1. 朝ごはんは食べていますか？

① 毎日食べている ② 週3回以上食べる ③ 食べるのは週2回以下 ④ 食べない

2. 誰と食べていますか？(複数可)

① 父 ② 母 ③ 祖父母 ④ 兄弟姉妹 ⑤ その他 ⑥ 一人で食べる

○記入された方にお聞かせください。

3. 朝ごはんは食べていますか？

① 毎日食べている ② 週3回以上食べる ③ 食べるのは週2回以下 ④ 食べない

4. 同時に朝食を食べている、⑤週3回以上食べるお友だちがいる人に聞いてください。朝食には野菜を食べますか？ 真の姿ではお口をこぼして食べています。

	毎日食べる	週3回以上食べる	食べるのは週2回以下	食べない
性別(男/女/不明)				
年齢(幼児/小学生/中学生/高校生/大学生)				
朝食の頻度(毎日/週3回以上/週2回以下/食べない)				
朝食の時間(朝食前/朝食中/朝食後)				
朝食のメニュー(パン/ご飯/麺類/スープ等)				
備考				

5. 同時に朝食を食べている、⑤週3回以上食べるお友だちがいる方に聞いてください。あなたが朝食を食べない理由は何ですか？(0は回答まで)

① 食べる時間がない ② 朝食を食べる習慣がない ③ 食欲がない
④ 朝食を食べる習慣がない ⑤ 作るのが面倒だから ⑥ 夜食が消費されている
⑦ その他()

6. 朝食を食べない理由を伺ったところ、工夫していること、大切にしていること、思っていることなどがあれば、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

朝食に関するアンケート集計結果

調査対象：平成 25 年 8 月
調査対象：幼稚園 5 施設
調査目的：ご家庭での朝食の現状を把握する

188名の方から回答いただきました。①記入者は母親が 184名、祖父が 2名、②記入は2名、お友達の母親は、③ 母親が 28名、④ 父親が 64名、⑤ 母親が 80名、⑥ 母親が 11名、⑦ 母親が 2名でした。

●お子さんの朝食について

1. 1週間に何回食べるのか

約94%のお友達が朝食を毎日食べていました。週3回以上が0.6% (1名)、週2回以下は0.0% (1名)、食べないが4.8% (1名)のお友達がいました。

2. 朝食と一緒に食べる人(複数可)

お友達が朝食と一緒に食べる人として、お母さんが最も多いのが70%、お父さんが約30%でした。

● 「朝食に野菜を食べたくなるポスター」による「モーベジ！」啓発

- ・平成 25 年度に東北工業大学クリエイティブデザイン学科の協力を得て作成した「朝食に野菜を食べたくなるポスター」を活用し、子育て世代や若い世代に「モーベジ！」の取り組みを推進に向け働きかけた。
- ・関係する区内の施設に送付し掲示した。(保育所(園)、幼稚園、児童館、小・中学校、高校、専修学校、宮城大学、東北工業大学、市民センター 計 149 か所)
- ・健康増進課を通じてローソン東北支社の協力を得て、市内のローソン店内に8・9月の2か月間掲示した。
(105 店舗)



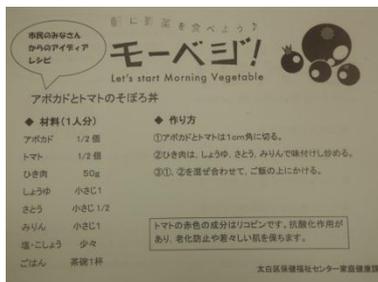
デザイン：東北工業大学
クリエイティブデザイン学科学生



● 「モーベジ！」ロゴマークを活用した取り組みの推進

● 家庭健康課での活用

- ① 幼児健診、離乳食教室等でモーベジガイド（「モーベジ！」の説明、簡単レシピの紹介）の配布。（45回 1755枚）
- ② たいはく朝市で販売する野菜のモーベジレシピを配布。
（レシピ28種類 延べ1680枚）



- ③ 健康情報紙「からだ健康応援団」（被災者支援事業の一環として月1回配布）にモーベジレシピを紹介。
（配布枚数 延べ3860枚）

● 推進施設での活用

推進施設33カ所に活用状況を現在照会中。

2. モーベジレシピ集の活用

「モーベジレシピ集」※を使った講座（講話、デモンストレーション、試食）を管内児童館で実施。

（児童館での健康教育2回、大学での健康教育1回）

※モーベジレシピ集：平成24年度開催の「モーベジレシピコンテスト」に出展したレシピと組み合わせのメニュー集

3. 推進施設と連携した取り組み

- 推進施設（33施設）に情報紙「モーベジ通信！α」の配布とデータを送信。それぞれの施設が状況に合わせて活用している。

新規の推進施設へは情報紙の配布、データの送信と共にモーベジ！のロゴマークを送り活用していただいた。

- 推進施設の小学校と共催で、「モーベジレシピ集」を活用したモーベジに関する講話と調理実習を実施した。

芦口小学校（延べ89名）
モーベジレシピ集を活用した
講義・調理実習を行った。



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市泉区保健福祉センター家庭健康課		
連携機関・団体	子育て応援倶楽部いずみん		
取り組みの名称	地域子育て交流会 ～みやぎの郷土料理 ぼた餅（おはぎ） を作ろう会～	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>【「子育て応援倶楽部いずみん」について】</p> <p>地域で活動する育児サークル、子育てサロン、食育推進団体等が一堂に会し交流を持つことで、相互関係を深め、関連しながらそれぞれの活動を充実させ、地域で孤立しない育児の実現と世代間交流を図ることを目的として活動しています。</p> <p>年数回の交流会や勉強会等の他、10月には「いずみおやこフェスティバル」を開催しています。</p> <p>参加団体：泉区内の育児サークル、子育てサロン、泉区食育推進団体（名称：いずみ食育の輪）、NPO 法人、主任児童委員、地域子育て支援室・支援センター、児童館・児童センター、のびすく泉中央、泉区中央市民センター、泉区家庭健康課</p> <p>【みやぎの郷土料理 ぼた餅（おはぎ）を作ろう会】</p> <p>いずみんの参加メンバーを対象とした地域子育て交流会の一環として開催しました。</p> <p>■日時 平成26年9月5日（金）10:00～13:00</p> <p>■会場 泉区中央市民センター</p> <p>■講師 泉区食育推進団体「いずみ食育の輪」</p> <p>■内容 ①みやぎの郷土料理のおはなし（お餅の食文化について） ②ぼた餅をいっしょに作りましょう ③試食と交流タイム（各グループの活動紹介など）</p> <p>■参加者数 大人22名 乳幼児11名</p> <p>■実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる所属の人と交流できるように参加者を振り分けて5つの班をつくり、各班に食育推進団体のメンバーが1人ずつ入ってすすめました。 はじめに、ぼた餅をはじめとしたみやぎのお餅文化についてお話しをし、次に作り方の説明の後、小豆あん、ごま、きなこの3色のぼた餅を参加者みんなで作りました。 		

• あらかじめ炊いておいたもち米を、すりこ木で「半殺し」にするところから、あん・ごま・きなこをまぶして形を整えるところまで、子供たちもいっしょに行いました。



• のびすくや市民センター、家庭健康課からの参加者が小さい子供たちの見守りをし、子連れの参加者も積極的に作業ができました。



■所感

地域子育て交流会は、子育て世代と支援者の交流および世代間交流が主な目的ですが、今回は郷土料理をテーマにしたことで、地域の人材を活かして若い世代に地域の食文化を伝える機会となりました。



食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市教育局総務企画部健康教育課		
連携機関・団体	市役所本庁舎地下食堂（魚国総本社）		
取り組みの名称	学校給食フェア	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>〔日時〕平成27年1月26日（月）～1月30日（金）</p> <p>〔内容〕 全国学校給食週間にあわせて、市民の皆さまに学校給食の意義や役割について理解を深めていただくことを目的に「学校給食フェア」を開催した。</p> <p>○学校給食メニューを日替わりで提供 市内の小中学校で食べられている学校給食メニューを地下食堂で1日限定60食（料金500円）提供した。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin: 10px;"> <p>1/26（月）高砂小学校メニュー <ごはんにつけて> ごはん、豚キムチ、コーン入り卵スープ、大根サラダ、りんご</p> </div> <p>（*その他メニュー別紙参照）</p>  <p>○給食レプリカ，給食歴史パネル等の掲示 昭和時代から平成にかけての懐かしい給食レプリカや写真を市役所1階ギャラリーホールに展示した。</p>  		

学校給食フェア



「全国学校給食週間」に併せて、市民の皆様に学校給食の意義や役割について理解を深めていただくことを目的に、『学校給食フェア』を開催いたします。

子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康について懸念されることが多い中、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校給食の果たす役割はますます重要となっています。

子どもたちが食べている給食を、昔の給食と比べながら味わってみませんか。

《日時》 平成27年1月26日(月)～1月30日(金) 11時より

《場所》 仙台市役所 食堂 (仙台市青葉区国分町 3-7-1 市役所本庁舎 地下)

《メニュー》 子どもたちが食べている学校給食メニューを日替わりで提供します。

実施日	各校のおすすめ	献立
1/26(月)	ごはんにつけて (高砂小メニュー)	ごはん, 豚キムチ, コーン入り卵スープ, 大根サラダ, りんご
1/27(火)	大豆たっぷり (湯元小メニュー)	ごはん, さばのごま焼き, 大豆と根菜のコロコロきんぴら, 呉汁, みかん
1/28(水)	仙台雪菜を使って (高森中メニュー)	ごはん, みそカツ, 雪菜のからし和え, 白玉汁, りんご
1/29(木)	自慢の豆ごはん (栗生小メニュー)	豆ごはん, 鮭の薬味ソースがけ, ごまごぼう, けんちんうーめん, みかん
1/30(金)	食感を楽しんで (沖野東小メニュー)	ごはん, 鶏肉とカシューナッツの炒め物, 切り干し大根サラダ, えびと卵のスープ, パインアップル

《食数》 1日 限定60食 《料金》 1食 500円

《展示》 市役所本庁舎1階ギャラリーホールにおいて、
給食レプリカや歴史パネル等も展示します。



《お問合せ》 仙台市教育委員会 健康教育課給食運営係 TEL 214-8868

食育推進事業取り組み事例

仙台市食育推進会議

局・区・課名	仙台市教育局生涯学習部生涯学習課		
連携機関・団体			
取り組みの名称	親子食育講座	仙台市食育推進計画 推進の柱	① ② ③ ④
日時・内容	<p>「早寝・早起き・朝食・あいさつ」などの子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズムの改善を推進するため、PTA や社会学級等と連携し、親子で取り組む食育講座を開設し、家庭での食育の取り組みを推進している。</p> <p>○実施時期：平成 26 年 6 月～12 月 ○対象者：小学生とその保護者 ○講座内容：食育に関する講話及び調理実習 ○平成 26 年度実績 実施校 50 校 延べ開催回数 83 回 参加者数 3,780 名</p>		
			
			
	<p>仙台市立住吉台小学校での講座風景</p>		